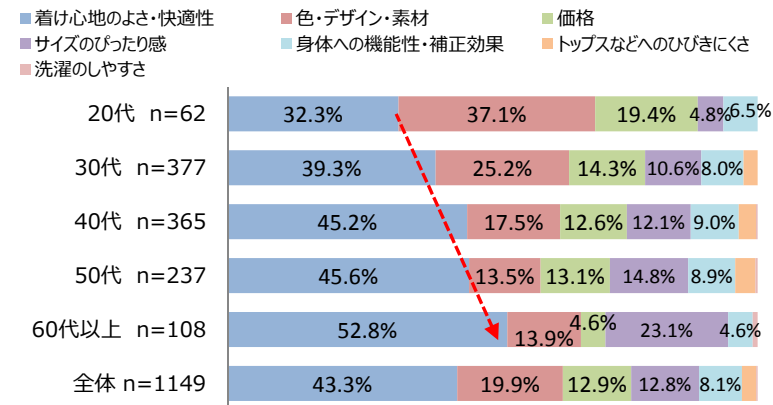


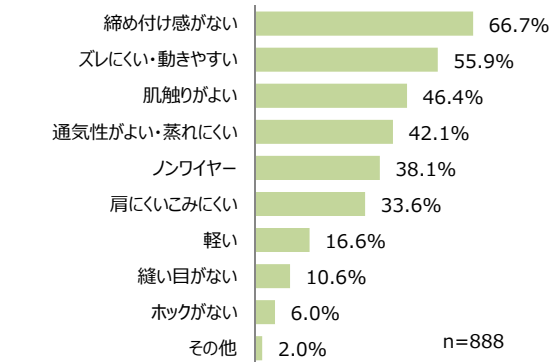
01 Woman's Trend

ブラジャーは「補正効果」から「快適さ」に大きくシフト。もう元のブラには戻れない!? 人気上昇中の“サードウェーブ・ブラ”。女ゴコロが次に求めるモノは？

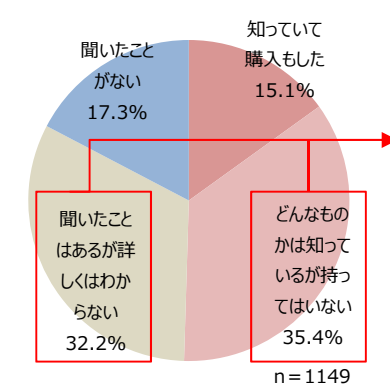
グラフ1. ブラジャーの購入時に最も重視すること



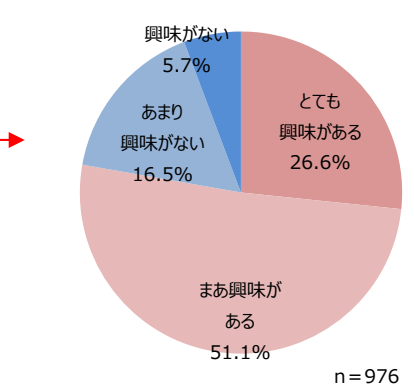
グラフ2. 快適性の具体的なポイントは？
(快適性を重視する人)



グラフ3. サードウェーブ・ブラを知っていたか？ 購入したか？



グラフ4. サードウェーブ・ブラに興味があるか？ (持っていない・詳しく知らない人)



スタイルのために、無理に寄せたり、上げたり、かき集めたり—そんな努力はもう古い!? ワイヤーの代わりにソフトな樹脂などで胸を支え、きれいに見せる造形性と、着け心地の良さを両立した“サードウェーブ・ブラ”が各社から続々登場。そこで今回は、1176人から回答があった「インナーウェアについての調査」から、今どきのブラを巡る女ゴコロをご紹介します。

今、ブラジャーを購入する際にもっとも重視するのは「着け心地のよさ・快適性」(43.3%)だ。20代では「色・デザイン・素材」が1位だったが、それ以降は「快適性」がトップを占め、年代が上がるにつれ「快適性」「サイズのぴったり感」を求める傾向が強まる。谷間をつくる、胸を大きく見せるなどの「機能性・補正効果」は、全体では8.1%(5位)だった(グラフ1)。「快適性」の具体的なポイントでは、「締め付け感がない」「ずれにくい・動きやすい」「肌触りがよい」が上位に入った(グラフ2)。

締め付けなど、身体にかかるストレスからの解放を求める動きは、「エフォートレスなどファッションのトレンドも含めて、今の女性の無理をせず、自分らしくいたいという生き方ともつながっている」とは、ワコールの金岡茉莉子さん。「ワコールでは、幅広い世代に向けたブランドで、“新・解放系”のブラを展開。今後は例えば仕事でプレゼンする時はワイヤーを、リラックスする時はサードウェーブを、というようなブラの使い分けが進むのではないかと」。

代表的な商品を挙げてサードウェーブ・ブラについて聞いたところ、「知っているが購入した」人は15.1%。ただし「知っているが持っていない」「聞いたことはあるが詳しくはわからない」を加えた認知度は、82.7%(グラフ3)。持っていない・詳しく知らない人のうち「興味がある」が77.7%(グラフ4)と、ポテンシャルは高い。使用者からは、「普通のブラジャーに戻れなくなると思うぐらい快適」(29歳)、「史上最高に

気に入る、ほとんどの手持ちと買い換えた」(42歳)、「着け心地がよく、その割にバストを整えてくれる」(60歳)など、喜びの声が。一方、「サイズがSMLなどで、いまいちフィット感に欠ける」(45歳)、「もうちょっとサイズ幅を広げてほしい」(36歳)という要望も。さらに目立つのは、「デザインがシンプルすぎるので気分が上がらない」(41歳)、「もう少し可愛い色が欲しい」(50歳)、「高揚感というか、ゴージャス感ゼロなのがちょっと残念」(55歳)など、デザインに関する意見だ。

お気に入りの下着の有無(グラフ5)や、着けようと思う時(表1)を見ても、下着には、実用を超え、女性の気持ちやテンションを高める側面がある。ワコールでは、今秋、レース遣いの新商品を発売するという。さらに豪華に、もっとかわいらしく…。サードウェーブ・ブラで新たな快適さに目を開かれた女ゴコロは、さらに欲張りになっていく。(副所長 滑川恵理子)

グラフ5. お気に入りの下着を持っているか？

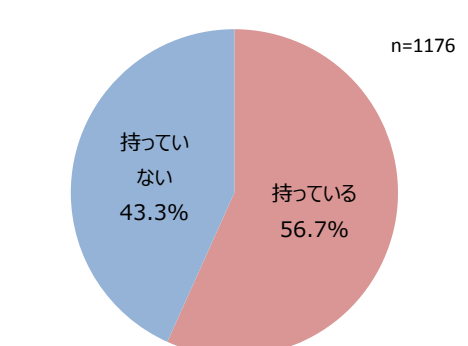


表1. お気に入りの下着を着けようと思う時は？ (FAから抽出)

順位	シーン	人数
1位	外出・お出かけ	164
2位	旅行・温泉・遠出	127
3位	彼氏や好きな人とデート・お泊り	92
4位	気分を上げたい・気分転換したい・気合を入れたい、元気を出したい時など	62
5位	お気に入りの洋服を着る・ドレスアップをする時など	56

02 Working Woman's Real

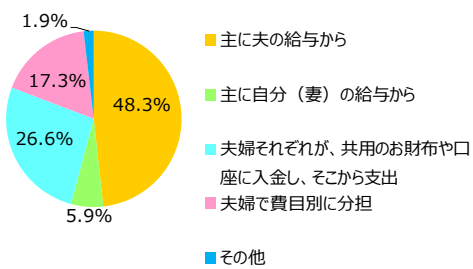
【働く女性の夫婦のお財布事情】

共働きでも半数が、家計は「夫頼み」 分担派は夫が固定費、妻が普段の食費

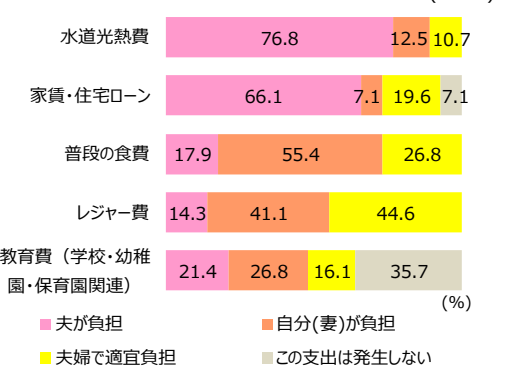
夫婦のお財布事情について、共働きの女性に聞いたところ、家計の支出方法で最も多かったのは「主に夫の給与から」で48.3%。共働きでも、夫が家計の担い手という人は多い。夫婦の収入で家計をやりくりしている人は4割強で、その方法は「夫婦それぞれが、共用のお財布や口座に入金し、そこから支出」26.6%、「夫婦で費目別に分担」17.3%に分かれる。

夫婦で費目別に分担している人に、費目ごとの担当者を聞いたところ、「水道光熱費」「家賃・住宅ローン」といった固定費は、夫が担当という人が多数。妻が担当している率が最も高いのは「普段の食費」55.4%。これは、食材の買い物を妻がすることが多く、効率がよいことも一因であろう。「レジャー費」も、妻が担当している人が41.1%と多めだが、夫婦で適宜分担しているという人も44.6%いた。

【家計の支出方法は、次のどれに近い？】



【夫婦で費目別に分担している人の分担状況】 (n=56)



2017.06.30~07.09、全国の働く女性(パート・アルバイト・自営除く)を対象としたWeb調査。集計数：323

03 Living Woman's Network

リビング新聞グループの女性組織紹介 ~女子力高い「シティメイト」 女子に人気、OLの“今”がわかる読者ブログ

今月紹介する読者組織は、OLのためのお役立ち情報、ロコミ情報が満載の「シティリビングWeb」で活躍する読者ブロッガー「シティメイト」。

8月から第5期がスタート。北海道から福岡まで全国8エリア、総勢108人のOLがさまざまなジャンルのオススメ情報を発信している。

担当者によると「シティメイト」の特徴は「とにかく“女子力”が高い。仕事をしっかりしながら、プライベートも大充実。グルメ、イベント情報に敏感で、美容意識も高い“リア充”な人たちです」。ブログのカテゴリーはお出かけ・買い物・グルメ・ファッション・ビューティー・自分磨きなど10種類もあるが、ほぼ総てのカテゴリーにブログがアップされている。好奇心旺盛で行動力溢れる女性たちだ。

今、働く若い女性に何が流行っているのだろうか？とギモンに思ったら、情報感度が高く、発信力があるシティメイトのブログを、ぜひチェックしてほしい。

http://city.living.jp/citymate



第5期、東京・横浜のシティメイト(一部代表)



スターブロッガー・nimoさん。食品工場見学マニアで紹介している工場は60以上。その経験からテレビ・雑誌などメディアにも多数登場